

公立大学法人秋田公立美術大学第1期中期目標の 期間の終了時の検討結果について

公立大学法人秋田公立美術大学の組織の在り方その他組織および業務の全般にかかる検討を行った結果、下記のとおり、業務を継続させることが適切と判断するものである。

記

公立大学法人秋田公立美術大学（以下、「大学」という。）は、第1期中期目標および第1期中期計画の達成に向け、地域の課題解決等、積極的に様々な取組みを行うことにより、評価委員会による業務実績評価でも順調な業務運営が認められると同時に、本市の目指す「芸術・文化をいかしたまちづくり」の一翼を担う、地域に根ざした公立の美術大学としてなくてはならない存在となっている。

また、第2期中期目標については、大学の基本理念を念頭に、地域のニーズや少子高齢化、地方創生等、時代の変化をふまえるという策定方針を明示し、評価委員会の意見聴取をもとに検討を進め、その検討結果を反映させて策定したものであり、市議会11月定例会での議決後、その第2期中期目標を大学に指示することで、所要の措置を講じたものである。

大学では、第1期中期目標期間における大学の業務の総括を行った上で第2期中期計画を策定しており、大学として目指すべき未来像とそれを実現するための重点戦略を定めている。

今後は、第1期中期目標期間における取組みをより一層推進し、大学のさらなる発展に向け、第2期中期目標・中期計画の着実な実現を期待するものである。